

7. 基本理念

本市の教育の現状や課題を踏まえ、高松市総合計画の目指すべき都市像「人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松」の実現のため、「人を育み、多様な生き方が尊重されるまち」の考えの下、この計画の目指すべき基本理念を次のとおりとします。

高松を愛し 夢と志を持って
一人ひとりが輝く教育

人は、誰しも幼少期を過ごした「ふるさと」があり、様々な人と関わり合いながら生活しています。ふるさとの豊かな自然、歴史や文化、学校の先生や家族、地域に住む人々の思いや愛情に触れることで、他者の多様な生き方に気づき、自分の興味や関心を育んでいきます。そして、「高松(ふるさと)への愛着や誇り」は、自らの心のよりどころとなり、市民一人ひとりが幸せで、生涯を通じて心豊かで生きがいのある人生を送り、将来にわたり豊かな活力のある地域を築くための原動力になります。

技術革新の推進や人生100年時代の到来など、将来の予測が困難な時代をたくましく生きるためには、次世代を担う子どもたち一人ひとりが、自らの良さや可能性に気づき、個性を發揮し、「夢と志を持って」自己実現を目指すとともに、多様な人々と協働して様々な課題を乗り越え、困難な場面に立ち向かい、未来を切り拓いて(築いて)いくための基盤ともなる、「一人ひとりが輝く」教育の充実が必要となります。

これらのことから、「誰一人取り残さず一人ひとりが輝く教育」と「高松で育ち、高松で学び、高松で暮らして良かったと思える教育」を基本的な考え方として、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、学校と家庭・地域の連携・協働を大切にした教育を進めます。

誰一人取り残さず 一人ひとりが輝く教育

子どもたちは、誰もが皆と共に学び、共に感動し、共に喜びを分かち合いたいという気持ちを持っています。学校や学級の中で、一人ひとりの存在や思いが大切にされるという環境を成立させることで、「共に学ぶ喜び」を全ての子どもに実感してもらえよう、また、「一人ひとり全ての子どもたち」が必要な資質・能力を育成し、個性を生かす教育を推進します。

高松で育ち、高松で学び、高松で 暮らして良かったと思える教育

子ども自身が地域や身の回りの課題を見つけ解決する体験を積み重ねること、地域で活躍する人の存在を知り、つながりを持つことが大切です。その経験から、ふるさとの良さを実感し、「自分がふるさとの未来を創っている」という地域の持続的な発展に、当事者として貢献しようとする心を培い、将来、地域の発展に資する人材の育成を目指します。

8. 基本目標

この計画の基本理念に基づき、次の4つを基本目標とし、計画を推進します。

基本
目標

I 生きる力を育む学校教育の充実

子どもたちの確かな学力と、豊かな心と体を育成するとともに、ふるさとの未来を支える教育の推進を図ります。



基本
目標

II 安全・安心で魅力ある教育環境の充実

子どもたちが、学校において、安全・安心に、健康的で、快適に学習・生活できる教育環境を整備するとともに、教員の資質向上と教育指導体制を充実させます。



基本
目標

III 家庭・地域とともに育む教育力の向上

学校・家庭・地域及び関係機関が連携し、地域ぐるみで子どもたちの健やかな成長を促す教育力を向上させます。



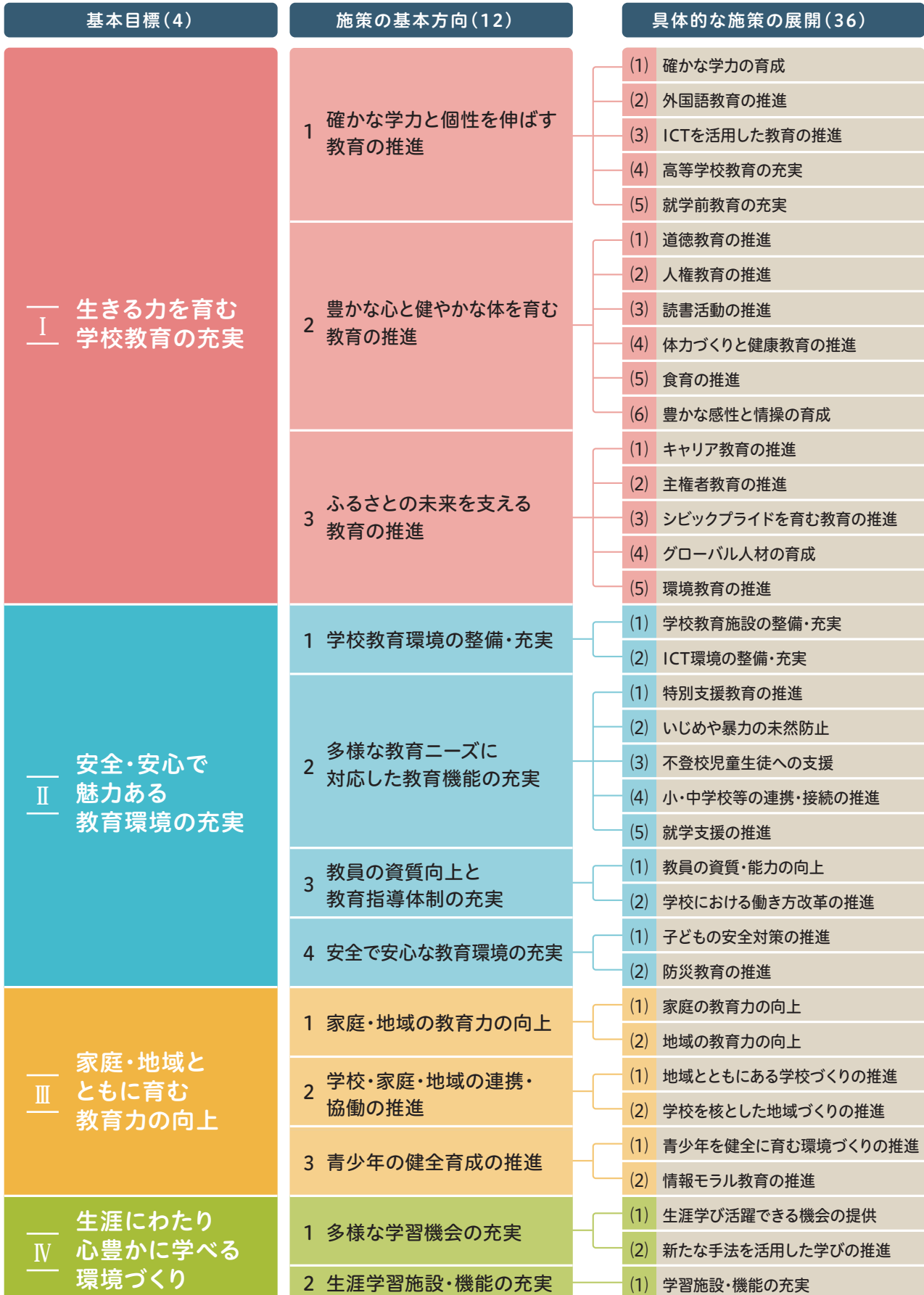
基本
目標

IV 生涯にわたり心豊かに学べる環境づくり

生涯にわたって、生涯学習の意欲を高めるとともに、気軽に学習できる環境をつくります。



9. 施策体系



高松を愛し 夢と志を持って 一人ひとりが輝く教育



基本目標

I

生きる力を育む 学校教育の充実

確かな学力と個性を伸ばす教育の推進
豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
ふるさとの未来を支える教育の推進



基本目標

II

安全・安心で魅力ある 教育環境の充実

学校教育環境の整備・充実
多様な教育ニーズに対応した教育機能の充実
教員の資質向上と教育指導体制の充実
安全で安心な教育環境の充実



基本目標

III

家庭・地域とともに育む 教育力の向上

家庭・地域の教育力の向上
学校・家庭・地域の連携・協働の推進
青少年の健全育成の推進



基本目標

IV

生涯にわたり 心豊かに学べる環境づくり

多様な学習機会の充実
生涯学習施設・機能の充実



誰一人取り残さず
一人ひとりが輝く教育

高松で育ち、高松で学び、
高松で暮らして
良かったと思える教育



※道標の役割を持つ赤灯台(高松市教育振興基本計画)が、
未来の高松市の教育(目標・ビジョン)を照らし出しているイメージ。

